

解答

一

- (1) 開幕
(2) 模型
(3) 補修
(4) 俳優
(5) 安否
(6) 寒暖
(7) 創造
(8) 操作
(9) 冷蔵
(10) 専門
(11) 推測
(12) 故障
(13) 納「める」
(14) 就「く」
(15) 著「した」
(16) ユイゴン
(17) オンゾン
(18) カンショウ
(19) カツ「いで」
(20) オトズ「れる」

二

- 問一 前半：イ 後半：オ
問二 A ク B カ C ウ D ア E オ
問三 米は、そのゝいました。
問四 米にまつわるさまざまな日本語
問五 エ
問六 炊いたご飯に水を加えて煮ると、ご飯粒がつぶれて濁った感じの粥になってしまうから。
問七 米
問八 オ
問九 【エ】
問十 イ、オ

二

- 問一 A エ B ア C イ
問二 ● だんだん気ゝになった。
● 大作だけでゝっていた。
問三 (1) ウ
(2) a ク b オ c キ d イ
問四 仲間はずれにしようとする勢力
問五 梅雨明け
問六 エ
問七 梅雨明けの合い図の雷が落ちるのは、三本杉のまんなかの木であること。
問八 エ
問九 ア
問十 エ

解説

二

- 問六 読み進めていくと、「炊いたご飯に水を加えて煮るという方法もありますが、これだどご飯粒がつぶれてしまつて濁った感じの粥になるのは避けられません」と述べられています。

三

- 問七 梅雨明けの合い図として雷が落ちるといふのは常識だと一郎に言われたので、「ぼく」は、具体的に「三本杉の、まんなかの木にね」と付け加えます。一郎は、この言葉に驚き、怖さを感じたと考えられます。